

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013001	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部実験棟1階)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	論理的に大意を素早く日本語及び英語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の英文を読み、英語でということが述べられているかを数行でまとめることができるようになる。 ・音読のスピードを、可能な限り、早めることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習として課題と教材の予習(1時間/回) 事後学習として解説された課題の見直し(1時間/回)		
キーワード / Keywords	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Materials	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明
第2回	Listening 1, プリント教材(1)
第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目(約30分程度), プリント教材(5)
第7回	Listening 5, プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Grammar 1, プリント教材(9)
第11回	Grammar 2, プリント教材(10)
第12回	Grammar 3, プリント教材(11)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目(約30分程度), プリント教材(12)
第14回	Grammar 4, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013002	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2K(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	Jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	科学・環境系の分野のトピックを扱い、現状の問題点を学びつつ、今後の課題を考えます。400字程度の英文とその内容理解でトピックを学ぶだけでなく、基本的な科学・環境の専門用語に焦点を当てた語彙問題や、図表・グラフの英語表現など、実践的な科学・環境系英語を身につけます。		
授業到達目標/Course goals	(1) 科学・環境系のトピックについて書かれた400字程度の英文の内容を、語彙・語法・文構造・パラグラフ構造のすべての面において、授業終了後には90%理解できるようになる。 (2) 上記(1)の英文のリスニング活動とディクテーション活動を通して、基本語彙を、音声・意味・語法・スペリングの4側面すべてにおいて「身につける」ことができる。 (3) 基本的な科学・環境問題の専門用語、図表・グラフの英語表現など、実践的な英語を知り、これをライティング、スピーキングで実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	(1) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%) (2) Unitテスト (LACSテスト含む) 30% (3) 定期試験 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1)e-learning自学自習 (合計30時間) (2) 次週学習ユニットの予習 (3h/回) (3) ユニットテストに備えた復習 (1h/回)		
キーワード/Keywords	Environment, Active Learning		
教科書・教材・参考書/Materials	Seisuke Yasunami & Richard S. Lavin, Science Quest (未来科学への誘い) 2020年、成美堂		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	https://www.weibidoco.jp 音声ストリーミングURL
学生へのメッセージ/Message for students	成績評価における、Unit Testスコアの割合を多めに設定しています。Unit Testは授業の冒頭におこなうので、遅刻・欠席の場合は0点となることを十分理解して授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: Fast Asleep? （動物たちの眠り）
第2回	Unit 2: All Gone? （種消滅の危機）
第3回	Unit 3: Beeing and Nothingless （ミツバチがいなくなったら）
第4回	Unit 4: As Clever as Us? （賢い動物たち）
第5回	Unit 5: Life in the Oceans （海洋の生態系）
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6: Powering Our World （クリーンエネルギー）
第7回	Unit 7: Hot, Powerful, and Clean （太陽光発電）
第8回	Unit 8: Keep on Running （水の重要性）
第9回	Unit 9: Where Are All the Trees? （深刻な森林破壊の状況）
第10回	Unit 10: Too Hot to Live? （気象変動がもたらすもの）
第11回	Unit 11: Reading Anywhere （電子書籍）
第12回	Unit 12: Controlling Everything （モノのインターネット）
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 13: Easy Payments （電子商取引の世界）
第14回	Unit 14: Let's All Pay （クラウドファンディング）
第15回	Unit 15: Where Do You Want to Fly Today? （空飛ぶクルマ）

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013003	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2K(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界の様々な優れた文学作品や、個性豊かな人々によって著された名作について、書かれた英文を熟読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来医療従事者を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。		
授業到達目標/Course goals	世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。英文は古典の名文であり、高度なレベルのものが多く、さらなる読解力を養うことができる。テキストのExerciseにより、リスニングとスピーキングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(40%) + e-learning 教材学習テスト(40%) + 小テスト(10%) + 積極的な授業への参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 予習： シラバスを参考にして、各回の講義に関連した内容について、教科書や資料等を読み、予習をして臨んでください。（2h） 復習： 講義内容をもとに、出された課題について考えるとともに、テキスト・資料を確認して、自分なりの考えを持つようにしてください。（2h）
キーワード/Keywords	古典によるリーディング・スキルの向上 / 優れた文学作品 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める / 人文科学 / 自然科学 / 思想 / 映画
教科書・教材・参考書/Materials	『A Look at Love in Fiction 愛のテーマで英語を学ぶ』（Fiona Wall Minami / 本山ふじ子：朝日出版社） 音声教材は、無料でダウンロードできます。http://text.asahipress.com/free/english 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明
第2回 4月19日	Chapter 1 Twilight
第3回 4月26日	Chapter 2 Romeo & Juliet
第4回 5月10日	Chapter 3 Gone with the Wind
第5回 5月17日	Chapter 4 Brokeback Mountain
第6回 5月24日	第1回 e-learning 教材学習テスト Chapter 5 The Remains of the Day
第7回 5月31日	Chapter 6 Pride & Prejudice
第8回 6月7日	Chapter 7 Jane Eyre
第9回 6月14日	Chapter 8 Sons & Lovers
第10回 6月21日	Chapter 9 The Portrait of a Lady
第11回 6月28日	Chapter 10 The Great Gatsby
第12回 7月5日	Chapter 11 Love Story
第13回 7月12日	第2回 e-learning 教材学習テスト Chapter 12 The Time Traveler's Wife
第14回 7月19日	Chapter 13 The Namesake
第15回 7月26日	Chapter 14 The Rosie Project
第16回 8月2日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013004	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 木3 金3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、DVDを用いて、必要な情報を探しながら、英語を聞き取る練習を行います。さらに、Dictation活動により、細部まで正確に聞き取る練習を行います。次に、DVDの中の表現から、重要なフレーズを覚え、自分のことを英語で表現する練習をします。最後には、DVDの内容を扱った英文をはやく、正確に読む練習をします。授業中に読んだ英文は、細部までの詳細な読みは課題として自宅で行い、翌週確認作業を行います。教科書の中で、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらうようにします。		
授業到達目標/Course goals	1) DVD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を90%理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、小テスト10%、プレゼンペーパー等の提出物や 授業でのアクティビティ10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられる英文教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード/Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies、 Scanning、 Skimming		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書(テキスト): Talking About Our Campus (DVD付き)(英宝社) ¥2,300		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすです
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション テキストUnit 1
第2回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 1)
第3回	Power Words Unit 1~ Unit 20 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 2)
第4回	Power Words Unit 21~ Unit 40 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 3)
第5回	Power Words Unit 41~ Unit 50 小テスト Listening, Writing and Reading Reading (テキストUnit 4)
第6回	e-learning 教材学習テスト第1回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第7回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第8回	Power Words Unit 51~ Unit 70 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 6)
第9回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 7)
第10回	Power Words Unit 71~ Unit 90 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 8)
第11回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 9)
第12回	Power Words Unit 91~ Unit 100 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 10)
第13回	e-learning 教材学習テスト第2回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 11)
第14回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 12) テキスト教材を用いたプレゼン。 グループワーク等
第15回	テキスト教材を用いたプレゼン。 グループワーク等 総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013005	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な経済学士になられることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (40%) + e-learning 教材学習テスト (40%) + 小テスト (10%) + 積極的な授業への参加 (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning自学自習 (合計30時間) 毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習 (2時間/回) ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。 (2時間/回)		

キーワード/Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める
教科書・教材・参考書/Materials	Living in a Global Community 『グローバル社会を生きる：道を拓く人々』（小林純子：朝日出版社） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。 音声教材は、 http://text.asahipress.com/free/english にて、無料配信しています。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月13日	導入・授業内容の説明
第2回 4月20日	Unit 1 The Power of Photography
第3回 4月27日	Unit 2 Disaster Recovery Coordinators
第4回 5月11日	Unit 3 Taking Risks
第5回 5月18日	Unit 4 Trying for a Comeback
第6回 5月25日	e-learning 教材学習テスト 第1回目 Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry
第7回 6月1日	Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry Unit 6 Niche Market
第8回 6月8日	Unit 7 Example without Preaching (1)
第9回 6月15日	Unit 8 Example without Preaching (2)
第10回 6月22日	Unit 10 Leading a Steady Life
第11回 6月29日	Unit 11 White Lies ?
第12回 7月6日	Unit 12 Seeking the Blue Bird of Happiness
第13回 7月13日	e-learning 教材学習テスト 第2回目 Unit 9 Mediators
第14回 7月20日	Unit 14 Living his Faith
第15回 7月27日	Unit 15 The Challenges of the State of Oregon
第16回 8月3日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013006	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (14:20 ~ / 授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講座は、単なるテキストに忠実な英文講読の演習のみを目的とするものではなく、テキストの英文を通して文化的差異に関する情報を収集し、文化にアプローチを試みながら、異文化理解の促進を第一義的な目的に据えるものである。市民レベルでの生活習慣、生活文化等の文化的差異を正しく認識し、日本人と英語圏の人々の思考過程・価値観・行動様式について、実相への理解を追究すると同時に、比較文化的視座から具体的例証に基づいてその論理の相違を実証的に解明、考察していくことが本講座の究極のテーマとなる。		
授業到達目標 / Course goals	英文の速読、及び直読直解ができる。 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持って異文化圏の人々に接することができる。 国際人に必要視される資質や“地球村”の一員であるという概念、及び共存・共生を目指して異文化に適応するための方法に加え、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを理解することができる。 日本の伝統と文化を尊重する態度を堅持することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習、及び異文化理解につとめる姿勢を持って、積極的に異文化に関する情報を収集しておくことを求めたい。(2時間/回)		

キーワード/Keywords	速読、直読直解、同時通訳方式、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	Cultural Differences (ハンドアウト教材)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。上述の通り、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	言語と文化は表裏一体と言われますが、言語を習得するためには、その言語を使用する人々の日常を反映する文化やコミュニケーション事情についても同時に学ぶことが大切です。本講座の受講を機に、英語国民とのコミュニケーション・ギャップや文化摩擦の根底にあるものを認識し、日本人が世界とより深く交わるためには何が必要なのかを模索していただきたいと思います。諸国の違いは多岐にわたりますが、違いを知ることによって共存への道を探ることが今後一層求められていく時代になるものと思われま。常に海外の事情に対しても注視する姿勢を保ち続けてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか)
第2回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第3回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第4回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第5回	日米文化比較~The High Standards of Japanese High Schools()~
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) 日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~
第7回	日米文化比較~Differences in Gestures and Facial Expressions()~
第8回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第9回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第10回	日米文化比較~Differences in Body Language()~
第11回	日米文化比較~Hamburger and Curry()~
第12回	日米文化比較~Hamburger and Curry()~
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) 日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~
第14回	日米文化比較~Where Do Stereotypes Come from?()~ 日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~
第15回	日米文化比較~Mayumi's Ideal Man()~、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 履修内容に関する解説や提示したアジェンダに対する発表活動により、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013007	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜(12:00~)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近年、英語でのコミュニケーション能力が様々な分野で求められるようになってきています。良好な人間関係を築くためには、相手を尊重しながら自分の意見を建設的に英語で伝える能力が、どの職業でも必要とされるでしょう。本授業では、身近なテーマをもとに、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4技能をバランスよく伸ばし、効果的な英語コミュニケーション能力を高めていくことを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なテーマについて、適切な語彙・表現を用いて英語で対話することができる。 ・適切なコミュニケーション・ストラテジーを用い、円滑な英語コミュニケーションを行うことができる。 ・様々なテーマの文章を英語で理解し、情報を読み取ることができる。 ・目的に応じた内容のまとまった文章を書くことができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト (10%) ・Reviewテスト (20%) ・英文レポート (20%) ・e-learning test (40%) (テスト 20%, テスト 20%) ・授業への姿勢 (10%) 		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・e-learning自学自習(合計30h) ・毎回の単語小テスト対策(2h) ・翌週取り扱うテーマについてインターネットで調べてくる(2h) 		
キーワード/Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書/Materials	Live Escalate Book 2: Trekking (成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ペア・グループワークをする機会が多くあります。日頃から自分の意見を英語で述べられるように、語彙・表現の習得に努めてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション コミュニケーション活動
第2回	Unit 1 Occupations
第3回	Unit 2 At the Dinner Table
第4回	Unit 3 Sports
第5回	Unit 4 Health
第6回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第7回	Unit 5 What 's on Your Playlist?
第8回	Unit6 At the Movies
第9回	Reviewテスト
第10回	Unit 7 Technology in Daily Life
第11回	Unit 8 Social Network
第12回	Unit 9 Looking on the Bright Side
第13回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第14回	Unit 10 Love Affairs
第15回	Unit11 Storytelling

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013008	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1) e-learning自学自習:合計30時間 2) 課題:毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	e-learning教材学習テスト(1回目) 第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	多聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	e-learning教材学習テスト(2回目) 多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回, 第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013009	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2F(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選び取ることができるようになる。基本的な文法・構文・表現方法を使用することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1 時間 / 回) テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところははっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		

キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	森田彰『総合英語のターゲット演習 [中級] 』(金星堂、2017年)
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方とe-learningについての説明
第2回	Let's Clean Up! 1(リスニング、会話)
第3回	Let's Clean Up! 2(リーディング)
第4回	Human Society 1(リスニング、会話)
第5回	Human Society 2(リーディング)
第6回	インターネット上の英語を読む
第7回	e-learning学習教材テスト1回目 Express Yourself with Emoji! 1(リスニング、会話)
第8回	Express Yourself with Emoji! 2(リーディング)
第9回	Good Sleep, Good Health 1(リスニング、会話)
第10回	Good Sleep, Good Health 2(リーディング)
第11回	Job Interview Success 1(リスニング、会話)
第12回	Job Interview Success 2(リーディング)
第13回	ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
第14回	e-learning学習教材テスト2回目 Dress Your Own Way
第15回	リスニング・リーディングのポイント確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013010	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 50% 課題10% e-learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習(合計30時間) 予習: 毎回指定した範囲の英文を和訳し、問題演習を解いておく。(1時間/回) 復習: 授業中に確認した訳や問題演習を再読し、理解を確実にしておくこと。また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるようにしておくこと(30分/回)		
キーワード/Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書/Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up）
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013011	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を視聴理解することができるようになり、またその内容を説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主教材より 各単元課題英作文・ナレーション 計20% 最終課題英語プレゼンテーション作成 20% 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) e-learning 教材学習テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習(合計30 時間) ・ 予習: 授業の範囲は可能であれば学生のリクエストを聴きます。予習プログラムに沿って教科書の範囲に目を通し、事前に音源を聞いてくること(1 時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努めること(1 時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	主教材: NHK NEWSLINE4 (金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	この講義では、DVD素材を利用して音読訓練を行います。タイムを指定して音読させるタイムアタック、テキストを後追いさせるオーバーラッピング、シャドウイングなど、学生の習熟度を診て判断します。
学生へのメッセージ/Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	4/8 オリエンテーション、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	4/15 副教材 Unit 1、主教材 教科書 新章ルーティーン
第3回	4/22 副教材 Unit 3、主教材 教科書 新章ルーティーン
第4回	5/6 副教材 Unit 4、主教材 教科書 次章ルーティーン
第5回	5/13 副教材 Unit 5、主教材 教科書 次章ルーティーン
第6回	5/20 副教材 Unit 6、主教材 教科書 次章ルーティーン
第7回	5/27 e-learning教材学習テスト第一回目 副教材 Unit 7、主教材 教科書 次章ルーティーン
第8回	6/3 副教材 Unit 8、主教材 教科書 次章ルーティーン
第9回	6/10 副教材 Unit 9、主教材 教科書 次章ルーティーン
第10回	6/17 副教材 Unit 11、主教材 教科書 次章ルーティーン
第11回	6/24 副教材 Unit 12、主教材 教科書 次章ルーティーン
第12回	7/1 副教材 Unit 13、主教材 教科書 次章ルーティーン
第13回	7/8 副教材 Unit 14、主教材 教科書 次章ルーティーン
第14回	7/15 e-learning教材学習テスト第二回目 副教材 Unit 21、主教材 教科書 次章ルーティーン
第15回	7/29 副教材 Unit 24、主教材 教科書 次章ルーティーン 終了
第16回	8/5 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013012	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2G(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育講義棟 B棟1階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	まずは、メールで質問を受け付けます。a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEICのリスニング・セクション、リーディングセクションに特化したe-learning教材を用いて、TOEICの問題に効率的に取り組む力を養成する。TOEICを受験するうえで有用な語彙や表現に着目し、細部を聞き取る、読み取る力を身に付ける訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を正しく適切に聞き取ることができる。 2. 必要な情報を正しく適切に読み取ることができる。 3. 自分の弱点を見つけ、強化することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% TOEIC教材への取り組み: 25% 中間テスト&小テスト: 15% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習: 事前に指定したTOEICの教材の範囲を学習すること、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習: 授業内容を見直し、学習の振り返りを行う (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	<p>この授業では、e-learning教材であるTOEIC L&R800 突破 (Reallyenglish社)を使用します。多文化社会学部で使用準備を行っていますので、自身で購入する必要はありません。使用方法については、初回の授業で説明します。</p> <p>この授業では、下記の2種類のe-learning教材を使用しますので、間違いのないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材1:Power Words & 3-STEP ・教材2: TOEIC L&R800 突破 <p>授業内で取り組むための教材ですが、指定された部分については、授業外での予習・復習が必要とされます。</p>	
受講要件 (履修条件) /Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948</p>	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	オリエンテーション アンケートの実施 学習方法の説明 リスニングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考え	A
第 2 回	リスニング強化 (1) PART1の概要とポイント	A C
第 3 回	リスニング強化 (2) PART 2 の概要とポイント	A C
第 4 回	リスニング強化 (3) PART 3 の概要とポイント	A C
第 5 回	リスニング強化 (4) PART 3 の概要とポイント	A C
第 6 回	リスニング強化 (5) PART 4 の概要とポイント	A C
第 7 回	e-learning教材学習テスト (1) リスニング強化 (6) PART 4 の概要とポイント	A C
第 8 回	中間テスト (リスニング) リーディングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考える	A C
第 9 回	リーディング強化 (1) PART 5 の概要とポイント	A C
第 1 0 回	リーディング強化 (2) PART 5 の概要とポイント	A C
第 1 1 回	リーディング強化 (3) PART 6 の概要とポイント	A C
第 1 2 回	リーディング強化 (4) PART 6 の概要とポイント	A C
第 1 3 回	リーディング強化 (5) PART 7 の概要とポイント	A C

第14回	e-learning教材学習テスト(2) リーディング強化(6) PART7の概要とポイント	A C
第15回	総復習	A C
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013013	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2G(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	谷川 晋一		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 総合教育研究棟 3F 多文化3 2番講義室 / SGHSS Lecture Room No.32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	IELTSのライティング・セクションに特化したe-learning教材であるIELTS Writingを用いて、検定試験のライティング問題に効果的に取り組む力を養成する。Task 1とTask 2の両方に関して、その特性や求められる構成、ストラテジー等、適切なエッセイを書くための基礎を着実に身につけながら、毎回、実際にエッセイを書いていく。当該ライティング・タスクに取り組む上で有用な語彙や表現、文法に意識的にも着目することで、スピーキングも含めて、自分の意見や主張を英語で的確に効果的に発信するための訓練を行っていく。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ IELTSのライティング・セクションについて、その特性や求められる構成、ストラテジー等の基礎を着実に身につけ、自分自身で適切なエッセイが書けるようになる。 ・ ライティングに有用な語彙や表現、文法を着実に身につけ、自分自身で的確に効果的に用いることができるようになる。 ・ 客観的な記述・データや自分自身の意見・主張を論理的にまとめ、他者に向けて的確に効果的に説明・発信できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材 (Power Words & 3-STEP) 学習テスト: 40% IELTS Writingへの取り組み: 30% 小テスト: 15% まとめテスト: 15% ・ e-learning教材については、学習時間・進捗度等を総合的に判断し、成績に反映する。詳細については、1回目の授業 (オリエンテーション) で説明する。 ・ 上記の基準で60%以上の取得が合格となる。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (Power Words & 3-STEP: 合計30 時間) ・ 予習: IELTS Writingの指定部分やLACSにアップロードする電子資料、動画、ウェブサイトを使って準備学習を行う (1時間 / 回) ・ 復習: IELTS Writingを復習し、理解を確実にしながら、応用課題等に取り組む (1時間 / 回)。 <p>この予習・復習は、毎回、授業冒頭で行う小テストを受ける上で前提となる。</p>
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	<p>授業内では、e-learning教材であるIELTS Writing (Reallyenglish社) を使用します。多文化社会学部で使用準備を行っていますので、自身で購入する必要はありません。使用方法等については、初回の授業で説明します。</p> <p>この授業では、下記の2種類のe-learning教材を使用しますので、間違いのないようにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材1: Power Words & 3-STEP <p>自宅等で取り組む自学自習用の教材です (総合英語I及びIIと同様)。授業内で取り組むことはありませんが、学期中に2回のテストが実施されますので、着実な取り組みが必須です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材2: IELTS Writing <p>授業内で取り組むための教材ですが、指定された部分については、授業外での予習・復習が必要とされます。</p>
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/8	オリエンテーション IELTS Writing: IELTS ライティングテストの特徴
第2回: 4/15	IELTS Writing: 折れ線グラフ: 人口
第3回: 4/22	IELTS Writing: オピニオンエッセー: ネット動画の是非
第4回: 5/6	IELTS Writing: 円グラフ: 輸入と輸出
第5回: 5/13	IELTS Writing: 問題と解決: 環境
第6回: 5/20	IELTS Writing: 棒グラフ: 高齢化する労働人口
第7回: 5/27	e-learning教材 (Power Words & 3-STEP) 学習テスト (1) IELTS Writing: ディスカッション・エッセー: 言語の習得
第8回: 6/3	IELTS Writingの前半まとめテスト
第9回: 6/10	IELTS Writing: 2種類のグラフをまとめる: 男女間の賃金格差
第10回: 6/17	IELTS Writing: メリットとデメリット: スーパーマーケット
第11回: 6/24	IELTS Writing: プロセス: 生産ライン
第12回: 7/1	IELTS Writing: 具体的な質問に対する意見: テクノロジー
第13回: 7/8	IELTS Writing: 地図と平面図: 変化する地形
第14回: 7/15	e-learning教材 (Power Words & 3-STEP) 学習テスト (2) IELTS Writing: 良い・悪い: 探検
第15回: 7/29	IELTS Writing: タスク2で高得点を目指す
第16回: 8/5	IELTS Writingの後半まとめテスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013014	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2G(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2G(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、IELTS関連の教材を用いて、一定の時間内に一定の量の英文を論理的に展開できるよう訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の英文を読み、論理的な仕方でも英文での要約等を展開できるようになる。 ・論理的な思考のみならず、批判的・創造的思考を見据えた思考に慣れる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	本教材の取り組み(30%)、e-learning教材学習テスト2回(40%)、中間・期末テスト(30%) *本教材は、授業回数に合わせて、1回の授業で終わっておくべき範囲が提示される。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習は、本教材の1回分を済ませておくことが前提で、その取り組みに2時間 事後学習としては、教材の復習とe-learning教材の学習に2時間。		
キーワード/Keywords	IELTS, academic writing, logical/critical/creative thinking		
教科書・教材・参考書/Materials	Reallyenglish IELTS Writing		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は、オンラインで行われます。学生は、これまで以上に自学自習の増進を求められます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	オリエンテーション、IELTS ライティング教材の説明、サンプル・ライティング
2回目	IELTSライティング教材1: グラフの読み取り (テーマ: 人口)
3回目	IELTSライティング教材2: essay writing (テーマ: ネット動画の是非)
4回目	IELTSライティング教材3: 円グラフの読み取り (テーマ: 輸出入)
5回目	IELTSライティング教材4: 問題と解決 (テーマ: 環境)
6回目	IELTSライティング教材5: グラフの読み取り (テーマ: 高齢化する労働人口)
7回目	e-learning教材学習テスト1回目 (対面)
8回目	中間試験 IELTSライティング教材6: ディスカッション・エッセー (テーマ: 言語習得)
9回目	IELTSライティング教材7: 情報の同時処理 (テーマ: 男女間の賃金格差)
10回目	IELTSライティング教材8: メリット&デメリット (テーマ: スーパーマーケット)
11回目	IELTSライティング教材9: プロセス (テーマ: 生産ライン)
12回目	IELTSライティング教材10: 具体的な質問に対する意見表明 (テーマ: テクノロジー)
13回目	IELTSライティング教材11: 地図と平面図 (テーマ: 変化する地形)
14回目	e-learning教材学習テスト2回目 (対面)
15回目	期末試験 IELTSライティング教材12: 良い・悪い (テーマ: 探検)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013015	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	連絡はメールでお願いします。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多様な英文テキスト、生の英語音声・映像の学習を通じて英語の受信・発信運用能力を高める。		
授業到達目標/Course goals	英語の学習を通じて多様な世界に興味を持つとともに、日本の社会や文化を再認識する機会を持つ。自分の考えを基本的な英語を使い発信することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above クラスコンテンツを用いた音読drill F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト: 40% クラスワーク: 60% (中間・期末試験 40%、提出・自律学習 20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30h) 事前: クラス学習範囲のオンライン音源・映像コンテンツの確認 (1/2h) 事後: 自律学習としてHeadwayOnlineコンテンツを利用 (1h)		
キーワード/Keywords	Headway online, CEFR B1		
教科書・教材・参考書/Materials	Soars, L. J. and Hancock, P. (2019). Headway Intermediate Student's Book A with Online Practice. Oxford: Oxford University Press		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	毎回、Listening quizを課します。 オンラインリソース (Headway Online) の自律学習		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	headwayonline.com		

学生へのメッセージ/Message for students	クラスワークとともに、課外の音読ドリルを習慣化しましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st period	Orientation 1. headway Online Practice 2. Textbook contents
2nd period	Unit 1 A (Reading) What's their story?
3rd period	Listening quiz Unit 1 Unit 1 B (Video) Nick Bruckman - my life, my story
4th period	Listening quiz Unit 1 Unit 2 A (Reading) Language lover
5th period	Listening quiz Unit 2 Unit 2 B (Video) The art of subtitling
6th period	Listening quiz Unit 2 Unit 3 A (Reading) Dan Price - The best boss in America
7th period	e-learning教材学習テスト: 1st test Unit 3B (Video) Saving lives at sea
8th period	Midterm test (Unit 1 to Unit 3)
9th period	Unit 4 A (Reading) The picture of Dorian Gray, by Oscar Wilde
10th period	Listening quiz Unit 4 Unit 4B (Video) How to tell a good story
11th period	Listening quiz Unit 4 Unit 5A (Reading) The philosophy of pebbles
12th period	Listening quiz Unit 5 Unit 5B (Video) Growing up
13th period	Listening quiz Unit 5 Unit 6 A (Reading) The man who made a forest
14th period	e-learning教材学習テスト: 2nd test Unit 6B (Video) The lost gardens of Heligan
15th period	Review Unit 4 to Unit 6

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013016	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、医療、スポーツ、ファッションなど、多岐にわたる分野の最新の動向やそれに伴う課題などを扱う記事を通して、世界の現状についての知見を広げると同時に、読解力工場のため、既習文法の再確認に取り組みます。		
授業到達目標/Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 社会の多様性が理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + 定期試験 (40点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	TARGET! upper-intermediate (金星堂) 2,000円 + 税		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.kinsei-do.co.jp/download/4118
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/9)	Introduction
第2回 (4/16)	Unit 1 Life with Pets
第3回 (4/23)	Unit 1 内容理解確認小テスト Unit 2 Virtual Relationship
第4回 (5/7)	Unit 2 内容理解確認小テスト Unit 3 Changing Words over Time
第5回 (5/14)	Unit 3 内容理解確認小テスト Unit 4 Fika and Hygge
第6回 (5/21)	Unit 4 内容理解確認小テスト Unit 5 Online Work Experience
第7回 (5/28)	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Fashion and Climate Change
第8回 (6/4)	Unit 6 内容理解確認小テスト Unit 7 Can We Travel to Space?
第9回 (6/11)	Unit 7 内容理解確認小テスト Unit 8 Gender and Sports
第10回 (6/18)	Unit 8 内容理解確認小テスト Unit 9 New "Old" Entertainment
第11回 (6/25)	Unit 9 内容理解確認小テスト Unit 10 New Way to Enjoy Cinema
第12回 (7/2)	Unit 10 内容理解確認小テスト Unit 11 Fake Meat or No Meat?
第13回 (7/9)	Unit 11 内容理解確認小テスト Unit 12 Cashless Society
第14回 (7/16)	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 13 New Energy Source
第15回 (7/30)	Unit 14 Future of Drones 総復習
第16回 (8/6)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013017	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英6)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	etudiants_nagu@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	世界の様々な優れた文学作品や、個性豊かな人々によって著された名作について、書かれた英文を熟読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来医療従事者を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。		
授業到達目標 / Course goals	世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。英文は古典の名文であり、高度なレベルのものが多く、さらなる読解力を養うことができる。テキストのExerciseにより、リスニングとスピーキングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(40%) + e-learning 教材学習テスト(40%) + 小テスト(10%) + 積極的な授業への参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。 予習： シラバスを参考にして、各回の講義に関連した内容について、教科書や資料等を読み、予習をして臨んでください。（2h） 復習： 講義内容をもとに、出された課題について考えるとともに、テキスト・資料を確認して、自分なりの考えを持つようにしてください。（2h）
キーワード/Keywords	古典によるリーディング・スキルの向上 / 優れた文学作品 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める / 人文科学 / 自然科学 / 思想 / 映画
教科書・教材・参考書/Materials	『A Look at Love in Fiction 愛のテーマで英語を学ぶ』（Fiona Wall Minami / 本山ふじ子：朝日出版社） 音声教材は、無料でダウンロードできます。http://text.asahipress.com/free/english 英和辞典（電子辞書）を必携すること。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Chapter 1 Twilight
第3回 4月23日	Chapter 2 Romeo & Juliet
第4回 5月7日	Chapter 3 Gone with the Wind
第5回 5月14日	Chapter 4 Brokeback Mountain
第6回 5月21日	Chapter 5 The Remains of the Day
第7回 5月28日	第1回 e-learning 教材学習テスト Chapter 6 Pride & Prejudice
第8回 6月4日	Chapter 7 Jane Eyre
第9回 6月11日	Chapter 8 Sons & Lovers
第10回 6月18日	Chapter 9 The Portrait of a Lady
第11回 6月25日	Chapter 10 The Great Gatsby
第12回 7月2日	Chapter 11 Love Story
第13回 7月9日	Chapter 12 The Time Traveler's Wife
第14回 7月16日	第2回 e-learning 教材学習テスト Chapter 13 The Namesake
第15回 7月30日	Chapter 14 The Rosie Project
第16回 8月6日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013018	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 木3 金3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	まず、DVDを用いて、必要な情報を探しながら、英語を聞き取る練習を行います。さらに、Dictation活動により、細部まで正確に聞き取る練習を行います。次に、DVDの中の表現から、重要なフレーズを覚え、自分のことを英語で表現する練習をします。最後には、DVDの内容を扱った英文をはやく、正確に読む練習をします。授業中に読んだ英文は、細部までの詳細な読みは課題として自宅で行い、翌週確認作業を行います。教科書の中で、授業時に指定した構文や表現は、必ず身に付けてもらうようにします。		
授業到達目標/Course goals	1) DVD教材を聞いて、必要な情報を聞き取り、使われた重要な表現を使えるようになる。 2) 様々なテーマを扱った英文を読んで、必要な情報を見つけ、英文の内容を90%理解することができる。 3) 学習して教材を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験40%、 e-learning教材学習テスト40%、小テスト10%、プレゼンペーパー等の提出物や 授業でのアクティビティ10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 毎回課せられる英文教材の精読。(1時間/回) 小テストのための学習。(1時間/回)		
キーワード/Keywords	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書(テキスト): Talking About Our Campus (DVD付き)(英宝社) ¥2,300		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション テキストUnit 1
第2回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 1)
第3回	Power Words Unit 1~ Unit 20 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 2)
第4回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 3)
第5回	Power Words Unit 21~ Unit 40 小テスト Listening, Writing and Reading Reading (テキストUnit 4)
第6回	Power Words Unit 41~ Unit 50 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第7回	e-learning 教材学習テスト第1回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 5)
第8回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 6)
第9回	Power Words Unit 51~ Unit 70 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 7)
第10回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 8)
第11回	Power Words Unit 71~ Unit 90 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 9)
第12回	Listening, Writing and Reading (テキストUnit 10)
第13回	Power Words Unit 91~ Unit 100 小テスト Listening, Writing and Reading (テキストUnit 11)
第14回	e-learning 教材学習テスト第2回目 Listening, Writing and Reading (テキストUnit 12)
第15回	テキスト教材を用いたプレゼン。 グループワーク等 総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013019	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2E(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。 (2) 与えられた写真(あるいは絵)を見て的確に英語で表現することができるようになる。 (3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。 (4) その会話の和訳を英訳できるようになる。 (5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。 (6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容をある程度理解することができるようになる。 (7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p> <p>授業方法(学習指導法): 授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン内容理解確認小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画(DVD視聴)を使用し、Readers' theater(朗読劇)などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <p>(1) LACSによる内容理解確認小テスト (2) テキストを使用した演習(ペアワーク、グループワーク、あるいは配布物による学習を含む) (3) 3分間英語のみで会話 (4) 洋画視聴(5~10分程度)</p> <p>提出されたグループワーク等は、添削評価して返却します(パフォーマンス課題にはルーブリックを準備)。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

<p>学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>	
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>20%定期試験、40%授業への取り組み(授業への積極的な姿勢10%、内容理解確認小テストx12回/20%、提出課題4%、グループワーク及びReaders' theater 6%)、40%e-learning教材学習テスト(20% x 2回)を総合的に判断します。</p>	
<p>各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>	
<p>事前・事後学習の内容/Preparation & Review</p>	<p>「事前・事後学習の内容」について ・e-learning自主学习(合計30時間程度) ・予習:事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、新しい単語、表現は確実に調べ、理解が不十分な点については質問できるように整理しておくこと。またLACSによる小テスト(12回実施予定)にむけた学習(1時間・回) ・復習:教科書(の中の会話文は、口からついて出てくる程度音読の練習をすること)やプリント(毎レッスン視聴する洋画の字幕等)を再読しておくこと(30分・回)</p>	
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>音読、リピーティング、ディクテーション</p>	
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Online Self-study』 Cambridge University Press - ISBN:978-1-108-55982-9を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。</p>	
<p>受講要件(履修条件)/Prerequisites</p>		
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>	
<p>備考(URL)/Remarks (URL)</p>		
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>英語でコミュニケーションができると世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。</p>	
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>		
<p>実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course</p>		
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>		
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>	<p>授業手法 /</p>

4月9日	<p>第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。</p> <p>授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアーワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater (朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキストの予習、復習を十分にして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。* (G/W) Group workの省略</p> <p>オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)</p>	A B
4月16日	テキスト Relationships	A B
4月23日	Relationships * (G/W)	A B
5月7日	Relationships, e-learning 内容確認他	A B
5月14日	Relationships & Environment, e-learning 内容確認他	A B
5月21日	テキスト Environment	A B
5月28日	1回目e-learning 教材学習テスト Reader's theaterの説明	A B
6月4日	Readers' theater * (G/W), Environment	A B
6月11日	テキスト Environment	A B
6月18日	Environment & テキスト On Vacation	A B
6月25日	On Vacation (G/W) / Readers' theater (G/W)	A B
7月2日	On Vacation, e-learning 内容確認他	A B
7月9日	On Vacation, e-learning 内容確認他	A B
7月16日	2回目e-learning 教材学習テスト On Vacation, Review	A B
7月30日	Review	A B
8月6日	定期試験	A B

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2021/04/08 ~ 2021/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013020	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etudiants_nagu yahoo.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間の資質や生き方、世界の様々な事柄に関して書かれた優れた英文を熟読し、青年期にある学生の皆さんがこれから生きていくうえで大切な知恵や人生の指針について学ぶ。教養を高め、自己を磨く一助とする。また、ここで学んだ知識を将来の生き方に役立てられるよう、身に付ける。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来優秀な経済学士になられることはもとより、人として、学生の皆さんには重要かつ必要不可欠です。 英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	人間の優れた資質や生き方について関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(40%) + e-learning 教材学習テスト(40%) + 小テスト(10%) + 積極的な授業への参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning自学自習(合計30時間) 毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。 ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また小テストに向けた学習(2時間/回) ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと。(2時間/回)		

キーワード/Keywords	リーディング・スキルの向上 / 人間の資質 / 生き方と人生 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める
教科書・教材・参考書/Materials	Living in a Global Community 『グローバル社会を生きる：道を拓く人々』（小林純子：朝日出版社） 英和辞典（電子辞書）を必携すること。 音声教材は、 http://text.asahipress.com/free/english にて、無料配信しています。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Unit 1 The Power of Photography
第3回 4月23日	Unit 2 Disaster Recovery Coordinators
第4回 5月7日	Unit 3 Taking Risks
第5回 5月14日	Unit 4 Trying for a Comeback
第6回 5月21日	Unit 5 The Ups and Downs in the Restaurant Industry
第7回 5月28日	第1回 e-learning 教材学習テスト Unit 6 Niche Market
第8回 6月4日	Unit 7 Example without Preaching (1)
第9回 6月11日	Unit 8 Example without Preaching (2)
第10回 6月18日	Unit 10 Leading a Steady Life
第11回 6月25日	Unit 11 White Lies ?
第12回 7月2日	Unit 12 Seeking the Blue Bird of Happiness
第13回 7月9日	Unit 9 Mediators
第14回 7月16日	第2回 e-learning 教材学習テスト Unit 14 Living his Faith
第15回 7月30日	Unit 15 The Challenges of the State of Oregon
第16回 8月6日	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013021	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2J(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部東棟1階		
担当教員TEL/Tel	(095)819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける。時間は要相談。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本科目は、「総合英語」という教養教育の集大成とも言うべき科目であるため、専門課程で使用する発信型スキルの訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・一定程度の量の英文を素早く読み、大意を捉えることができるようになる。 ・一定程度の英文を読み、その概要を数行程度の英文で書けるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、授業時の小テスト・予習チェックテスト(30%)、e-learning教材テスト2回(40%)、学期末テスト(30%)の三つの観点から行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30時間) 授業時の教材の予習・課題に2時間/回 授業後の復習に2時間/回		
キーワード/Keywords	rapid reading, paragraph reading, summary writing in English, logical thinking		
教科書・教材・参考書/Materials	プリント教材を使用する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	B4一枚程度の英文を読み、要約し大意を捉える練習をします。英文が論文になっても本になっても、基本的にやることは変わりません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	Introduction、e-learning教材の説明、level check listening test
2回目	Listening 1、プリント教材1
3回目	Listening 2、プリント教材2
4回目	Listening 3、プリント教材3
5回目	Listening 4、プリント教材4
6回目	e-learning教材学習テスト(1)(30分程度)、プリント教材5
7回目	Listening 5、プリント教材6
8回目	DVD教材1、プリント教材7
9回目	DVD教材2、プリント教材8
10回目	Grammar 1、プリント教材9
11回目	e-learning教材学習テスト(2)(30分程度)、プリント教材10
12回目	Grammar 2、プリント教材11
13回目	Grammar 3、プリント教材12
14回目	Grammar 4、プリント教材13
15回目	まとめ

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013022	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2J(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J(英2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	データや図表を含む、現代社会に関わるトピックを扱います。また、CLIL (Content and Language Integrated Learning) の手法を用い、新しいトピックについての語彙・表現、内容、ディスカッションにおける論理的思考・展開、結論の導き方などに慣れていきます。		
授業到達目標 / Course goals	(1) データや図表を含むトピックについて書かれた400字程度の英文の内容を、語彙・語法・文構造・パラグラフ構造のすべての面において、授業終了後には90%理解できるようになる。 (2) 上記(1)の英文のリスニング活動とディクテーション活動を通して、基本語彙を、音声・意味・語法・スペリングの4側面すべてにおいて「身につける」ことができる。 (3) 上記の活動にもとづき、各ユニット終了時には学んだトピックについて基本的なディスカッションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%) (2) Unitテスト (LACSでのテスト含む) 30% (3) 定期試験 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(1) e-learning自学自習 (合計30時間) (2) 次週学習ユニットの予習 (3h/回) (3) ユニットテストに備えた復習 (1h/回)		
キーワード / Keywords	CLIL, Discussion		
教科書・教材・参考書 / Materials	Miyako Nakaya, Miyuki Yukita, Masaru Yamazaki, Chad L. Godfrey, CLIL: Discuss the Changing World (CLIL: 英語で考える現代社会) 2020年、成美堂		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	https://www.seibido.co.jp 音声ストリーミングURL
学生へのメッセージ/Message for students	成績評価における、Unit Testスコアの割合を多めに設定しています。Unit Testは授業の冒頭におこなうので、遅刻・欠席の場合は0点となることを十分理解して授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: Artificial Intelligence: How Will Humans Live with AI?
第2回	Unit 2: Business: The Sharing Economy
第3回	Unit 3: Food Waste: Food Loss and Consumers
第4回	Unit 4: Environmental Problems: Plastic Waste
第5回	Unit 5: The Japanese Mentality: Do They Have Good Manners?
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6: Space Exploration: Will Space Benefit Our Future?
第7回	Unit 7: Immigration: Foreign Residents in Japan
第8回	Unit 8: Education: Online Learning
第9回	Unit 9: Culture: Entertainment
第10回	Unit 10: Science: The New Agricultural Revolution
第11回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11: The Aging Society: Elderly Drivers
第12回	Unit 12: DNA: Advances in DNA Technology
第13回	Unit 13: Relationship with Other Countries
第14回	Unit 14: Religions: Changes in Islam
第15回	Unit 15: Right to Be Forgotten: Privacy and Freedom of Expression

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013023	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2J(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2J(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点をすることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな英文を読むことができる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(30%) + 期末テスト(30%) + e-learning 教材学習テスト(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考 (クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	オンラインリソースを使いますのでパソコンかタブレットを持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネス英語について解説する。 第1回、ビジネスメール・メールのマナー他
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation, Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued, Review quiz; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading one In the Presence of Animals
第3回	Review quiz from the past week; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1 Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading One: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading Two: Who moved my cheese?
第6回	e-learning 教材学習テスト(1回目); Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading one: An Unbreakable Code
第7回	Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading two: Languages Die Out, Taking History Along
第8回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage
第9回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading Two: Elephant Behavior
第10回	Review quiz from the previous; Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading One: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第11回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the previous; Chapter 6: Social Psychology: Reading Two: Fourteen Years Later
第12回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading Two: Christo and Jeanne-Claude
第13回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage; Review quiz from the previous; Chapter 7: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading One: What is Public Art?
第14回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 21st Century; Reading One: Swap Tree- Simple, Easy Online Trading
第15回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 22st Century; Reading Two: Heldmarie Schwermer
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013024	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2D1・2D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan uma.bbiq.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>英語力の向上を図るとともに、我々の置かれている状況を知ることを目指す。より具体的には、今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで大意を取る力(速読力)を育てることを目標とする。また、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す力を育てる。英語文章の構成を学び、全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)を意識し、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係、取る練習をする。さらに、音声を用いた活動やディスカッション活動を通して、基本的な英語でのリスニング、スピーキング、ライティング、の力を増強し、英語による発信とコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力、発信力、総合的コミュニケーション力等、応用力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れる。文脈に応じて語彙の解釈ができる。</p> <p>基本的な英語を、聞いて理解できる。</p> <p>長い英語文章を読んで、段落間の関係や、全体の主題と各段落との関係を、理解できるようになる。</p> <p>基本的な英語で、自分の考えや感想を表現したり、クラスメイトと意見交換をできるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>e-learning 40% (e-Learning教材学習テスト2回、各30分程度)、期末テスト40%、小テスト12%、授業での提出物と積極的な授業への参加8%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 予習：英語音声、聞く、或いは、シャドウイングする(1回目は大意をとることに集中して、2回目は分からない単語や表現に下線を引きつつ1回目にとった大意を確かめながら)。次に、辞書を使って、分からない単語や表現をできるだけ調べ、テキストの問題を解いてみる。さらに、小テスト(の予習部分)への準備をする。(1h/回) 復習：前回の学習内容がきちんと身につけているか、もう一度教材を読んでみる。前回学習分の英文の中から、将来自分が英文で書く時に利用できそうな表現を選んで、それをういた自分の英文を書いてみる。さらに、小テスト(の復習部分)への準備をする。(30m/回)
キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)。
教科書・教材・参考書/Materials	Andrew E. Bennett, Fusion 2, NAN ' UN-D0, 2200円+税
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全回出席が原則。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	第1回授業について：成績評価の基準やe-learning についての説明など重要な連絡があるので、必ず出席して下さい。第1回授業で学習するユニットの本文をきちんと予習して来て下さい。 毎回の授業について：毎回(初回とe-learning テストの回を除く)小テストをします。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な人もいますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Art Therapy
第2回	Unit 2 From Sci-Fi to Reality
第3回	Unit 3 Exporting Labor
第4回	Unit 4 Celebrating the Earth
第5回	Unit 5 Virtual Lives
第6回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 6 Kidults
第7回	Unit 7 Genetically Modified Food
第8回	Unit 8 Empires of the Stars
第9回	Unit 9 Destination: Mars
第10回	Unit 10 Cross-Cultural Friendships
第11回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 11 Muscle Memory
第12回	Unit 12 Maritime Piracy
第13回	Unit 13 The Science of Love
第14回	Unit 14 The Homeless
第15回	Unit 15 A World Currency?
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013025	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉牟田 聡美 / Yoshimuta Satomi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sami kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業前後もしくはメールで随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業の目的は、幅広い分野のアカデミックな読み物を読む力を向上させることです。効果的に読むためのスキルの得、アカデミックな語彙を増強を目指します。またテキストを通じて知らない世界への知識を深め、批判的思考のための視点をすることも試みます。		
授業到達目標/Course goals	1, 主体的にまた協同的に幅広い分野のアカデミックな英文を読むことができる。 2, テキストの内容やその他を学びグローバルな視点から批判的思考を実践することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題(30%) + 期末テスト(30%) + e-learning 教材学習テスト(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	・ e-learning 自学自習 (合計 30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書・教材に取り組むこと、また小テストに向けた学習 (1 時間 / 回) ・ 復習: 教科書・教材を再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回)		
キーワード/Keywords	リーディングストラテジー、ボキャブラリー増強、批判的思考 (クリティカルシンキング)		
教科書・教材・参考書/Materials	Longman Academic Reading Series Level 1 Reading skills for College with Essential Online Resources (Pearson) 3300円		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	オンラインリソースを使いますのでパソコンかタブレットを持参してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	一緒に頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	外資系コンサルティング会社での通訳翻訳業務の経験に基づき、ビジネス英語について解説する。 第1回、ビジネスメール・メールのマナー他
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Orientation, Icebreaking, Building a community of learning
第2回	Icebreaking continued, Review quiz; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading one In the Presence of Animals
第3回	Review quiz from the past week; Chapter 1 Health Sciences: The therapeutic Animals: Reading 1 Canine Companions may help kids learn to read
第4回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading One: Young Football Players injured but not forgotten
第5回	Review quiz from the past week; Chapter 2 Psychology: Dealing with Change; Reading Two: Who moved my cheese?
第6回	e-learning 教材学習テスト(1回目); Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading one: An Unbreakable Code
第7回	Review quiz from the past week; Chapter 3: Linguistics: Little-known Languages; Reading two: Languages Die Out, Taking History Along
第8回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage
第9回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading Two: Elephant Behavior
第10回	Review quiz from the previous; Chapter 5: Social Psychology: Teaching Tolerance; Reading One: A Class Divided- Jane Elliott's Famous Lesson
第11回	e-learning 教材学習テスト(2回目); Review quiz from the previous; Chapter 6: Social Psychology: Reading Two: Fourteen Years Later
第12回	Review quiz from the previous; Chapter 6: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading Two: Christo and Jeanne-Claude
第13回	Review quiz from the past week; Chapter 4: Animal Behavior: Elephants: Reading One: The Elephant Orphanage; Review quiz from the previous; Chapter 7: Public Art: Experiencing Familiar Places in a New Way; Reading One: What is Public Art?
第14回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 21st Century; Reading One: Swap Tree- Simple, Easy Online Trading
第15回	Review quiz from the previous; Chapter 9: Economics: Bartering in the 22st Century; Reading Two: Heldmarie Schwermer
第16回	期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013026	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英7)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールでお願いします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	NHKの国際放送・NHKワールドTVで放送された英語ニュースをピックアップしたテキストを使い、現代社会における様々な課題と、それぞれの取り組みに関して英語で伝達されるニュースを聞き、また、書き起こされたものを読み、その内容をまとめ直し、自分の意見を加えて表現できるように4技能を有機的に結び付けながら練習する。特に授業内ではペアワークを通して英語を使う機会を設定する。また、学期中、グループプレゼンテーションを通して自分の考えをわかりやすく発信することも学習する。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1. 現代社会における課題と解決策、また、新たな取り組みなどに関するニュースを英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめ英語で発信することができるようになる。 2. 現代社会で、地域社会及び将来世代に貢献するためにどのようなことがなされているのか理解し、さらに、自分がどのような貢献ができるか考え意見交換をすることができるようになる。 3. プレゼンテーションでわかりやすく論理的に表現することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40% + 授業内での積極的な英語使用、及びプレゼンテーション 20% + 定期試験40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 予習: 次回の授業で扱うニュースを見て、問題を解いておく (1時間/回) グループプレゼンテーションのために、様々な情報を収集して準備をする (1時間/回)		
キーワード/Keywords	英語表現、やり取り、主体性、協働性		
教科書・教材・参考書/Materials	山崎達朗・Stella M. Yamazaki著『NHK NEWSLINE 4』(金星堂)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業の中では、学生が主体となって英語を使います。恥ずかしがらずに、積極的にクラスメートと関わって英語で会話をするようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 回目	オリエンテーション / Making Waves with a Magical Instrument
2 回目	Unit 2 Backstage Tour with Augmented Reality Starts AR
3 回目	Unit 3 Drinking to Eat
4 回目	Unit 4 Next Generation Mobility
5 回目	Unit 5 Eco-friendly Fashion Statement
6 回目	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit 6 Building a Bridge to Share a Son's Dream
7 回目	Unit 7 Taking Aim
8 回目	Unit 8 Boccia Boom Revitalizing Japanese Companies
9 回目	Unit 9 Rising Profile
1 0 回目	Unit 10 All Blacks Cause City to Rethink Ink
1 1 回目	e-learning 教材学習テスト2回目 グループプレゼンテーション準備
1 2 回目	グループプレゼンテーション
1 3 回目	Unit 11 Man-made Threat to Japanese Deer
1 4 回目	Unit 12 Home Appliance Maker Leads Comeback
1 5 回目	Unit 14 A New View of Hokusai
1 6 回目	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013027	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英8)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(英8)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1・英語使用のトレーニングを通し、抵抗なく英語を使えるようになる。 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させることができる。 3・主体性をもって他者と協働し、プレゼンテーション成功の為に自ら考え実行に移すことができるようになる。 4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通しバランスよく英語の総合力向上することができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ペアワークを通し、瞬発的に自分の意見をまとめ発話します。今まで考えたことのないテーマなどについての会話を出来るよう、様々なトピックを出題します。 <ol style="list-style-type: none"> F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への取り組み (15点) + プレゼンテーショングループ評価 (30点) + レポート提出 (15点) + e-learning教材学習テスト (40点) + 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ プレゼンテーション準備・授業内のグループミーティングの後、個人での英文作成などを実施 (30分/回) ・ 音読練習復習 (15分/回) ・ レポートの為に映画鑑賞及びレポート作成 (合計10時間) 		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		

教科書・教材・参考書/Materials	授業時にプリントを配布します。動画を用い、リスニング及び音読のトレーニングを行います。Speaking 練習の際は、実際の会話でなされると予測される様々なトピックをこちらで準備しますのでそれを用います。併せて学生さんが話したいと自ら思う内容の会話も授業中に皆さんとカードなどを作成し使用します。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し英語使用のトレーニングをします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。皆さんの未来の更なる英語学習へのモチベーションが構築されるよう全員、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	株式会社イーオンにて大人・子供の英会話指導経験/現在英会話・日本語会話スクールLejet主宰	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回10月4日	Orientation Speaking activity Group activity	B C E
第2回10月11日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第3回10月18日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第4回10月25日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第5回11月1日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第6回11月8日	e-learning 教材学習テスト1回目 Speaking activity Group activity	B C E
第7回11月15日	Presentation 1回目	B C
第8回11月22日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第9回11月29日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第10回12月6日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第11回12月13日	e-learning 教材学習テスト2回目 Speaking activity Group activity	B C E
第12回12月20日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E

第13回1月17日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E
第14回1月24日	Presentation 2回目	B C
第15回1月31日	Listening activity Speaking activity Group activity	B C E

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013028	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2T(英9)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(英9)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	Jissei kwassui.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	理工系の分野のトピックを扱い、今日までの科学の発展を学び、未来の科学を考えます。400字程度の英文とその内容理解でトピックを学ぶだけでなく、基本的な科学の専門用語に焦点を当てた語彙問題や、数式、形やグラフの英語表現など、実践的な理工系英語を身につけます。		
授業到達目標 / Course goals	(1) 理工系のトピックについて書かれた400字程度の英文の内容を、語彙・語法・文構造・パラグラフ構造のすべての面において、授業終了後には90%理解できるようになる。 (2) 上記(1)の英文のリスニング活動とディクテーション活動を通して、基本語彙を、音声・意味・語法・スペリングの4側面すべてにおいて「身につける」ことができる。 (3) 基本的な科学の専門用語、数式、形やグラフの英語表現など、実践的な理工系英語を知り、これをライティング、スピーキングで実践できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) e-learning教材学習テスト 40% (1回目 20% + 2回目 20%) (2) Unitテスト 30% (3) 定期試験 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	(1) e-learning自学自習(合計30時間) (2) 次週学習ユニットの予習(3h/回) (3) ユニットテストに備えた復習(1h/回)		
キーワード / Keywords	Science English, Technical Language		
教科書・教材・参考書 / Materials	Philip Zamrej Graham, Gordon A. Reid, Takeo Tanaka, Ghikako Sawada, Mikinari Matsuoka & Naofumi Okumura, Eureka!: Great Discoveries and Achievements in Science, Engineering, and Technology (世界を飛躍させた偉人たち—英語で学ぶ理工系の常識) 2020年、南雲堂		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	https://nanun-do.com 音声ストリーミング テキスト番号 [511963]
学生へのメッセージ/Message for students	成績評価における、Unit Testスコアの割合を多めに設定しています。Unit Testは授業の冒頭におこなうので、遅刻・欠席の場合は0点となることを十分理解して授業に臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Unit 1: Archimedes (c.287-c.212B.C.)
第2回	Unit 2: Leonardo da Vinci (1452-1519)
第3回	Unit 3: James Watt (1736-1819)
第4回	Unit 4: George Stephenson (1781-1848)
第5回	Unit 5: Isambard Kingdom Brunel (1806-1859)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 Unit 6: Nikolaus Otto (1832-1891)
第7回	Unit 7: Gustave Eiffel (1832-1923)
第8回	Unit 8: Thomas Edison (1847-1931)
第9回	Unit 9: Nikola Tesla (1856-1943)
第10回	Unit 10: Henry Ford (1863-1947)
第11回	e-learning教材学習テスト2回目 Unit 11: Guglielmo Marconi (1874-1937)
第12回	Unit 12: Alan Turing (1912-1954)
第13回	Unit 13: Stephanie Kwolek (1923-2014)
第14回	Unit 14: Steve Wozniak (1950-)
第15回	Unit 15: Tim Berners-Lee (1955-)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013029	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M(英1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kmat_nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館617号		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文等による発信)にも応用できる		
授業到達目標 / Course goals	・ TOEICの読解力問題で70% ~ 80%くらいの正解を得ることができる。(対応するDP: 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。) ・ 予め与えられた課題について、授業の到達目標を達成するために何を予習して調べる必要があるかを考えて取り組むことができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。) ・ プレゼンテーション等において、自分の考えや調べた内容を相手に分かりやすく伝えることができる。(対応するDP: 自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト (英文中の重要な語句や表現・英作文) 第1回と第2回の成績 40% (2) 授業時における発表内容 (予習内容の発表) 20% (3) e-learning教材学習テスト 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業で指定する予習 (英語の単語の意味・発音、文の意味、筆者の主張) を辞書、参考書、教科書の注釈等を用いて調べてくること。 ・ e-learning自学自習 (合計30時間) ・ 事前学習として、授業で示された課題の下調べとそのまとめ (1h) ・ 事後学習として、当該授業で学んだことのミニレポート等の作成 (1h)		
キーワード / Keywords	読解力 (精読・速読), 語彙力, 表現力 (発信力)		
教科書・教材・参考書 / Materials	James Kirkup, Tales of Mystery and Magic. 音羽書房鶴見書店.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	学生便覧を参照.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を（可能ならば英英辞書も）持参すること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元Netherlandic Tale, "The Three Wishes" (1)
第2回	"The Three Wishes" (2)
第3回	"The three Wishes" (3), リスニング練習
第4回	"The Three Wishes" (4)
第5回	"The Three Wishes" (5), リスニング練習
第6回	German Tale, "The Imp in the Bottle" (1)
第7回	e-learning教材学習テスト1回目 "The Imp in the Bottle" (2)
第8回	確認テスト第1回目, "The Imp in the Bottle" (3),
第9回	"The Imp in the Bottle" (4), リスニング練習
第10回	"The Imp in the Bottle" (5), リスニング練習
第11回	e-learning教材学習テスト2回目 Welsh Tale, "The Lady from the Sea" (1)
第12回	"The Lady from the Sea" (2), リスニング練習
第13回	"The Lady from the Sea" (3)
第14回	"The Lady from the Sea" (4)
第15回	"The Lady from the Sea" (5), リスニング練習
第16回	確認テスト(期末テスト)

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013030	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 10:30~11:00、木曜日 12:30~14:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>自らの英語学習の目標とモチベーションを高めることができる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト(2回): 40%</p> <p>授業中の取り組み: 20%</p> <p>課題: 20%</p> <p>定期試験: 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>e-learning自学自習(合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題(1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し(30分/回)</p>		
キーワード/Keywords	英語4技能の習得		
教科書・教材・参考書/Materials	配布教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに資料の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。英語を教養として考え、情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション	A B C
第2回	Listening & Reading (1): プリント教材による会話演習	A B C
第3回	Listening & Reading (2): プリント教材による会話演習	A B C
第4回	Listening & Reading (3): プリント教材による会話演習	A B C
第5回	Listening & Reading (4): プリント教材による会話演習	A B C
第6回	Listening & Reading (5): プリント教材による会話演習	A B C
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 Speaking ペア・グループワーク	A B C
第8回	Listening & Reading (6): プリント教材による会話演習	A B C
第9回	Listening & Reading (7): プリント教材による会話演習	A B C
第10回	Listening & Reading (8): プリント教材による会話演習	A B C
第11回	e-learning 教材学習テスト 2回目 Speaking ペア・グループワーク	A B C
第12回	Listening & Reading (9): プリント教材による会話演習	A B C
第13回	課題演習	A B C
第14回	課題演習	A B C

第15回	授業の総括	A B C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013031	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林田 朋子 / Hayashida Tomoko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M(英3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayashida72 wesleyan.ac.jp (メールをする際は、 @に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜 (12:00 ~)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	国際化の進展に伴い、日本の医療現場においても英語コミュニケーション能力の必要性が高まっています。本授業では、実際の医療現場で想定される対話の練習、医療に関する簡単な文章の読解を通じて、現場で役立つ実践的な英語力の向上を目指します。		
授業到達目標 / Course goals	医療現場で求められる語彙・表現を習得する。 医療現場を想定した対話文を用いて、コミュニケーションをとることができる。 医療に関する簡単な文章を読んで理解することができる。 世界における看護・医療の現状や文化の違いについて学び、自分の意見を述べるることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	・ e-learning教材学習テスト (40%) (テスト 20%、テスト 20%) ・ 小テスト (10%) ・ Review Test (20%) ・ 英文レポート (20%) ・ 授業への姿勢 (出欠・遅刻・発言・提出物などを含む) (10%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	e-learning自学自習 (合計30h) 毎回単語テストをしますので、学習してきてください (2h/回) 次回取り扱うテーマについてインターネットで調べましょう (2h/回)		
キーワード / Keywords	アクティブラーニング		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書・テキスト First Aid!: English for Nursing Akihiko Higuchi他著 (金星堂)、1,900円 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではペア・グループ活動が多々あります。日頃から自分の意見を英語で言えるようになるよう、語彙・表現力を身に付けるよう努めてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	guidance 授業の進め方、成績評価の説明等 コミュニケーション活動
第2回	Unit 1 First Visit to a Hospital 来院
第3回	Unit 2 How to Fill in a Registration Form 初診受付
第4回	Unit 3 Let's Ask Daily Activities 生活習慣を聞く
第5回	Unit 4 Symptoms 問診する（1）
第6回	Unit 5 Medical Check up 1 脈拍、血圧、体重の測定
第7回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第8回	Unit 6 Medical Check up 2 採血、採尿
第9回	Reviewテスト
第10回	Unit 7 Diagnosis 診断結果（1）
第11回	e-learning教材学習テスト コミュニケーション活動
第12回	Unit 8 Symptoms 問診する（2）
第13回	Unit 9 Let's Ask More about Symptoms 症状をより詳しく聞く
第14回	Unit 10 Explaining Blood Test Results 診断結果（2）
第15回	Unit 11 How to Take Medicine 薬の説明

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013032	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「総合英語」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	基本的に、e-learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進度等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	1) e-learning自学自習:合計30時間 2) 課題:毎回2時間の課題が出される(ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理したり、内容に対して自分の意見をまとめる等)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
第2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
第3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
第4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
第5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
第6回	第1回&第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
第7回	e-learning教材学習テスト(1回目)多聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
第8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
第9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
第10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
第11回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
第12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
第13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
第14回	聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
第15回	第7回&第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
第16回	学期末試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013033	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading Fluencyの習得に努める。		
授業到達目標 / Course goals	(1) TOEIC550~600程度の読解問題を解くことができる。 (2) 語彙力の強化により、内容を的確に把握し、読解のスピードを上げることができる。 (3) Reading Strategyを使いながら、システマティックに読解力向上を目指すことができる。 (4) 最新のニュースを読むことにより、時事への関心を深めることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	e-learning教材学習テスト40%、課題・小テスト等10%、期末テスト50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	・ e-learning自学自習 (合計30時間) ・ 事前に指定した教科書やプリントの予習を行うこと。(1時間/回)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Select Readings (Second Edition) Intermediate		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第 1 回	Course Outline (導入)	A
第 2 回	Chapter 2 Reading the Passage	A
第 3 回	Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 4 回	Chapter 4 Reading the Passage	A
第 5 回	Chapter 4 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 6 回	Chapter 6 Reading the Passage	A
第 7 回	e-learning教材学習テスト 1 回目 Chapter 6 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 8 回	Chapter 7 Reading the Passage	A
第 9 回	Chapter 7 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 1 0 回	Chapter 8 Reading the Passage	A
第 1 1 回	e-learning教材学習テスト 2 回目 Chapter 8 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 1 2 回	Chapter 9 Reading the Passage	A
第 1 3 回	Chapter 9 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 1 4 回	Chapter 10 Reading the Passage	A
第 1 5 回	Chapter 10 Reading and Vocabulary Comprehension	A
第 1 6 回	The Final Exam	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013034	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2M6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)、必要最低限の英語 (及び米語)、を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標 / Course goals	<p>英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習（合計30時間） 事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。（2時間/回）
キーワード/Keywords	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解
教科書・教材・参考書/Materials	英語リスニング 聞き取るための入門講座（ハンドアウト教材）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。従って、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-learning教材学習テスト（1回目）、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	e-learning教材学習テスト（2回目）、On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013035	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	r_otsubo hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、気候変動、飢餓問題、プラスチックごみ問題など、私たちの抱えるあらゆる問題を取り上げた記事を通して、これらの問題について理解を深め、記事に対する自身の考えをアウトプットする力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考えることができるようになる。 3. 適切な自己表現能力を身に付けることができるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (10回×2点=20点) + 定期試験 (40点) + e-learning教材学習テスト (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと、また、小テストに向けた学習 (1時間/回) ・ 復習: 教科書を再読し、理解を確実にするよう努め、また、理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1時間/回) 		
キーワード/Keywords	SDGs		
教科書・教材・参考書/Materials	Living as Global Citizens (南雲堂) 2,530円		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業は必ず予習をして臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (9/30)	Introduction
第2回 (10/7)	Chapter 1 Global Perspectives
第3回 (10/14)	Chapter 1 内容理解確認小テスト Chapter 2 Climate Change
第4回 (10/21)	Chapter 2 内容理解確認小テスト Chapter 3 Water
第5回 (10/28)	Chapter 3 内容理解確認小テスト Chapter 4 Clean Energy
第6回 (11/4)	Chapter 4 内容理解種テスト Chapter 5 Poverty
第7回 (11/11)	e-learning 教材学習テスト1回目 Chapter 6 Hunger
第8回 (11/18)	Chapter 6 内容理解確認小テスト Chapter 7 Children
第9回 (11/25)	Chapter 7 内容理解確認小テスト Chapter 8 Gender
第10回 (12/2)	Chapter 8 内容理解確認小テスト Chapter 9 Refugees
第11回 (12/9)	Chapter 9 内容理解確認小テスト Chapter 10 Insects
第12回 (12/16)	e-learning 教材学習テスト2回目 Chapter 11 Vegetarianism
第13回 (1/6)	Chapter 11 内容理解確認小テスト Chapter 12 Plastic Waste
第14回 (1/13)	Chapter 12 内容理解確認小テスト Chapter 13 Shopping
第15回 (1/27)	Chapter 14 Partnership 総復習
第16回 (2/3)	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013036	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L(英4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 10:30 ~ 11:00、木曜日 12:30~14:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>自らの英語学習の目標とモチベーションを高めることができる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) : 40%</p> <p>授業取り組み 20%</p> <p>課題・小テスト 20%</p> <p>期末テスト : 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題 (1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し (30分/回)</p>		
キーワード / Keywords	英語4技能の習得		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布・配信教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに英語の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション	A B C
第2回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第3回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第4回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第5回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第6回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 ペア・グループワーク	A B C
第8回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第9回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第10回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第11回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第12回	e-learning 教材学習テスト 2回目 ペア・グループワーク	A B C
第13回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C
第14回	プリント教材による演習とペア・グループワーク	A B C

第15回	授業の総括	A B C
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013037	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_dai@campus.nias.ac.jp (メールをする際は、を@に置き換えてください。) 欠席報告はメールではなく、後日届けを提出してください。		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようにする。 ・それぞれのアカデミックエリアで必要とする語彙力がより高くなる。 ・高校レベルの英文法を整理し、より正確な自己表現が英語で出来るようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Class Positive Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) e-learning教材学習テスト: 40% (1回目20%、2回目20%) Final Examination: 45%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning自学自習(合計30時間) 事前学習: 次の講義で進めるUnit内の単語やフレーズの確認、内容理解への挑戦、挑戦とは理解度の確認を行う。自分で理解できる部分、できない部分の確認、さらに事前学習の段階で理解できそうな部分において調べ学習を行うこと。(毎週学内と学外で2時間) 事後学習: 講義で学んだ新情報の復習、事前学習で理解できていなかった内容の確認、事後学習の段階で理解できなかった部分はLACSやメール、講義後に再度質問をする準備を行う。(毎週学内と学外で2時間) 事前学習は自分が持っているスキルや知識の確認です。「知っていること」、「知らないこと」を仕分けしておき、講義で「知らないこと」を理解できるように準備すること。講義時間を有意義なものにするための準備が事前学習です。 事後学習においては、講義で新しく学んだキーワードや語句、文法をピックアップし、習得したといえるレベルになるまで学習を行うこと。		

キーワード/Keywords	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長
教科書・教材・参考書/Materials	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書（英和、和英）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。（課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。）講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。（スマートフォンの操作等） 無断欠席回数が1/3以上でClass Participationを0%と致します。 欠席報告（公欠）は後日、欠席届けを提出してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	e-learning教材学習テスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/30	Introduction 学期の授業進行、教科書、e-learning教材学習の解説、その他注意事項、教科書販売
第2回 10/7	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)
第3回 10/14	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)
第4回 10/21	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)
第5回 10/28	Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)
第6回 11/4	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)
第7回 11/11	e-learning 教材学習テスト 1回目 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)
第8回 11/18	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回 11/25	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回 12/2	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回 12/9	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回 12/16	e-learning 教材学習テスト 2回目 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第13回 1/6	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan
第14回 1/13	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856
第15回 1/27	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
第16回 2/3	Final Examination

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013038	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2L(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410 hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	世界各国で普及したアイテムを知り、なぜそれがその地で人々の支持を得たのかを考察しながら、異文化への理解を深める。2人もしくは3人以上で協力して行う活動・練習を多く取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正確に理解できる。基本的な文法・構文・表現方法を使って、考えを適切に伝えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験30%、小テスト10%、ペアでの会話発表10%、授業への積極的な参加状況10%、e-learning教材学習テスト40% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・ e-learning 自学自習 (合計30 時間) ・ 予習: 事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間/回) テキスト付の音声を確認すること。内容がよくつかめなときは、「何がわからないのか」について深く考えてみましょう。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところが少しずつはつきりしてくると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。それから繰り返し音読していきましょう。 ・ 復習: 教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間/回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	Guess What?!---Intercultural Surprises, Natsuki Matsui, Nan'undo, 2021		

受講要件 (履修条件) /Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業の進め方とe-learningの説明
2回	Canada (リーディング)
3回	Canada (リスニング、会話)
4回	Thailand
5回	Germany
6回	Turkey (リーディング)
7回	e-learning学習教材テスト1回目、Turkey(リスニング、会話)
8回	Russia
9回	Israel
10回	South Africa
11回	インターネット上の英語を読む
12回	e-learning学習教材テスト2回目、The United States
13回	France
14回	ペアでの会話発表(日常の一場面を演じる)
15回	リスニング・リーディングのポイント確認
16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013039	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 50% 課題10% e-learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	e-learning 自学自習 (合計30時間) 予習: 毎回指定した範囲の英文を和訳し、問題演習を解いておく。(1時間/回) 復習: 授業中に確認した訳や問題演習を再読し、理解を確実にしておくこと。また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるようにしておくこと(30分/回)		
キーワード/Keywords	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書/Materials	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション（授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up）
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	e-learning 教材学習テスト1回目 Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	e-learning 教材学習テスト2回目 Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2021/09/28 ~ 2022/01/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20210590013040	科目番号 / Course code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Course title	総合英語 (2P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	akinatsuhana3 gmail.com (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 10:30 ~ 11:00、木曜日 12:30 ~ 14:00 (メールで事前に連絡してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	多様なジャンルの英語を教材にして、海外の文化やグローバル社会に向けての関心と知識を広げ、英語学習に対するモチベーションの向上を図る参加型の授業です。最近の話題や出来事について英語で情報を得ること、自分の考えを平易な英語で簡潔に伝えること、身近な場面で遭遇する語彙・表現を使う会話演習を通じて、総合的な英語力を身につけていきます。		
授業到達目標 / Course goals	<p>テーマについて英語で情報を得ることを楽しみ、より広く深く考察できるようになる</p> <p>自らの英語学習の目標とモチベーションを高めることができる</p> <p>音読演習を通して、英語音声の特徴に慣れ親しみ、自らのリスニング、スピーキングに役立てることができるようになる</p> <p>臆せずに英語でクラスメートと会話することを楽しめる</p> <p>自らの英語学習について継続して学びたいという意欲を持てるようになる</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>e-learning教材学習テスト (2回) : 40%</p> <p>授業中の取り組み : 20%</p> <p>課題 : 20%</p> <p>定期試験 : 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>e-learning自学自習 (合計30時間)</p> <p>予習: 教材の予習および課題 (1時間/回)</p> <p>復習: 配布資料の音読と課題の見直し (30分/回)</p>		
キーワード / Keywords	英語 4 技能の習得		
教科書・教材・参考書 / Materials	配布教材		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	テーマごとに資料の読解、リスニングや会話演習をします。最近の世界の話題（ニュース、SNS、スピーチ、映画等）から教材を紹介していきます。英語を教養として考え、情報を英語で収集することやアウトプットすることを楽しめるようになります。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	西アフリカのUNICEF事務所にJPOとして2年間勤務 ・ 時事英語や国際社会でコミュニケーションをとる際に役立つ実践的な英語を適宜授業に取り入れている	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーション	A B C
第2回	Listening & Reading (1): プリント教材による会話演習	A B C
第3回	Listening & Reading (2): プリント教材による会話演習	A B C
第4回	Listening & Reading (3): プリント教材による会話演習	A B C
第5回	Listening & Reading (4): プリント教材による会話演習	A B C
第6回	Listening & Reading (5): プリント教材による会話演習	A B C
第7回	e-learning 教材学習テスト 1回目 Speaking ペア・グループワーク	A B C
第8回	Listening & Reading (6): プリント教材による会話演習	A B C
第9回	Listening & Reading (7): プリント教材による会話演習	A B C
第10回	Listening & Reading (8): プリント教材による会話演習	A B C
第11回	Listening & Reading (9): プリント教材による会話演習	A B C
第12回	e-learning 教材学習テスト 2回目 Speaking ペア・グループワーク	A B C
第13回	課題演習	A B C
第14回	課題演習	A B C

第15回	授業の総括	A B C
第16回	定期試験	A